

インフルエンザ定点(小児科定点を含む)

インフルエンザ: インフルエンザ報告数は58件(前月比 0.9、前年同月比 0.9)でした。本年の2月をピークに減少していましたが、9月より増加傾向にあり、例年より若干早いペースです。全国では定点あたりの報告数が1.0を上回り流行シーズンに入ったと考えられています。熊本県は0.7ですが今後の報告数の増加が懸念されます。

小児科定点

※平成25年1月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が48医療機関から50医療機関に増えました。

(全体傾向) 報告数は2,683件(前月比 0.8、前年同月比 0.7)と前月および前年に比し減少傾向です。感染性胃腸炎(前月比 0.5)に例年のような増加がみられていません。RSウイルス感染症が前月比 0.5と低下傾向にあります。

(疾患別傾向)

1. RSウイルス感染症: 377件(前月比 0.5、前年同月比 1.6)と例年同様10月をピークに減少傾向にあります。宇城(24.5)菊池(12.6)からの報告が多いです。1才にピークがあります。

※()書きは1ヶ月の報告数を定点数で割った値。以下同じ。

2. 咽頭結膜熱: 47件(前月比 0.8、前年同月比 0.2)で、5月をピークに減少傾向です。

3. A群溶連菌咽頭炎: 254件(前月比 0.9、前年同月比 0.6)で、例年同様、の傾向にあります。人吉(13.0)、菊池(11.6)からの報告が目立ちます。

4. 感染性胃腸炎: 1,144件(前月比 1.0、前年同月比 0.5)で、本年1月をピークに減少傾向にあります。例年のように11月からの増加は見られていません。菊池(56.6)有明(52.0)八代(36.5)からの報告が多いです。1才にピークがあります。

5. 水痘: 215件(前月比 0.8、前年同月比 0.7)で、本年に入りほぼ横ばいですが、昨年より少ない傾向にあります。1才にピークがあります。

6. 手足口病: 189件(前月比 0.8、前年同月比 0.9)で、ほぼ平年並みです。人吉(23.7)からの報告が特に多いです。

7. 伝染性紅斑: 6件(前月比 0.7、前年同月比 0.9)で、昨年に引き続き少数の報告が続いています。

8. 突発性発疹: 156件(前月比 0.7、前年同月比 1.0)でした。この3年間、通年性に発症の報告がありますが、やや夏に多い傾向があります。

9. 百日咳: 0件(前月比 -、前年同月比 -)です。5月に8件でしたが、徐々に減少し11月は報告がありませんでした。

10. ヘルパンギーナ: 28件(前月比 0.3、前年同月比 2.3)で、8月をピークに減少しています。例年同様にほぼ収束しています。

11. 流行性耳下腺炎: 45件(前月比 1.2、前年同月比 5.0)で、ほぼ横ばいで推移しています。人吉(10.3)からの報告が多いです。

眼科定点

1. 急性出血性結膜炎：報告はありません。
2. 流行性角結膜炎：報告数38件(前月比 1. 1、前年同月比 0. 6) とほとんど増減はありません。
年齢別で20～49歳代のピークも変わりありません。地域別では熊本34件、菊池4件の報告です。

STD定点

※平成25年1月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が13医療機関から16医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症：報告数 52件(前月比 0. 9、前年比 1. 0)で、前月比は減少し、前年比は同数でした。
男女別は、男性10件、女性42件で、女性に多く見られます。年齢は、男性、20～59歳に見られます。女性は15～49歳に見られますが、15～34歳に多く見られます。地域別は、熊本が33件、次いで八代9件、菊池6件、有明2件、御船、宇城各1件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症：
報告数 16件(前月比 0. 9、前年比0. 7)で、前月比、前年比ともに減少しています。
男女別は、男性6件、女性10件でした。年齢は、男性は30～64歳に見られ、女性は15～70歳以上と幅広く見られます。地域別は、熊本が9件、次いで八代4件、菊池、御船、宇城各1件でした。
3. 尖圭コンジローマ：報告数 8件(前月比 0. 9、前年比1. 1)で、前月比は減少し、前年比は増加しています。
男女別は、男性3件、女性5件でした。年齢は、男性は20～39歳に見られ、女性は15～34歳にみられます。地域別は、熊本、御船、八代各2件、次いで菊池、宇城各1件でした。
4. 淋菌感染症： 報告数11件(前月比0. 5、前年比0. 7)で前月比、前年比ともに減少しています。男女別は、男性8件、女性3件でした。年齢は、男性は20～59歳に見られ、女性は15～24歳にみられます。地域別は、熊本が6件、次いで八代3件、菊池、宇城各1件でした。

基幹定点

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎： 1件(前月比 —、前年比 —)の報告がありました。
熊本1件で、年齢は70歳以上:1件でした。
2. 無菌性髄膜炎： 1件(前月比 0. 2、前年比 1. 0)の報告がありました。
熊本1件で、年齢は10～14歳:1件でした。
3. マイコプラズマ肺炎:12件(前月比 0. 7、前年比 —)の報告がありました。
阿蘇2件、八代2件、人吉5件、天草3件でした。年齢は1～4歳:2件、10～14歳:2件、15～19歳:1件、20～24歳:1件、25～29歳:1件、30～34歳:1件、35～39歳:1件、50～54歳:1件、70歳以上:2件でした。
4. クラミジア肺炎： 報告ありませんでした。(前月比 —、前年比 —)
5. 感染性胃腸炎： 1件(前月比 1. 0、前年比 —)の報告がありました。
(ロタウイルス) 熊本1件で、年齢は1～4歳:1件でした。

(月報分)

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症: 21件(前月比 1.1、前年比 0.8)の報告がありました。
熊本12件、山鹿2件、阿蘇1件、八代2件、水俣2件、人吉2件でした。
年齢は0歳:1件、1~4歳:1件、20~24歳:1件、65~69歳:2件、
70歳以上:16件でした。
2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症: 3件(前月比 0.6、前年比 0.8)の報告がありました。
熊本1件、八代1件、有明1件でした。
年齢は65~69歳:1件、70歳以上:2件でした。
3. 薬剤耐性緑膿菌感染症: 報告ありませんでした。(前月比 -、前年比 -)

届け出対象感染症

- 1類感染症: 報告はありませんでした。
- 2類感染症: 結核:24件
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症:2件
- 4類感染症: 日本紅斑熱:2件
つつが虫病:6件
レジオネラ症:1件
- 5類感染症: 後天性免疫不全症候群:1件
侵襲性肺炎球菌感染症:1件
水痘(入院例):1件
梅毒:1件